

三八

昭和六年横須賀鎮守府基本演習

第一次演習 乙軍

第二特設航空隊

横濱鎮基演習乙軍特空命令第一號

昭和六年七月九日

横濱鎮基演習乙軍特設航空隊指揮官千田貞敏

乙軍飛行機隊命令

一 敵情

情報ニ依ル大型洋艦一隻及特型驅逐艦數隻アリタル敵
ハ若干ノ船艇ヲ伴ヒ七月十三日午後六時錢洲南西約二
十里ヲ北進中又七月十三日夕出漁セル澳船ハ午後八時
御前崎燈臺ノ南約三十里ニ小型船艇數十隻、北上ス
ルヲ發見セリト謂フ

二 友軍ノ情況

我軍ハ全力ヲ舉ゲテ敵艦隊ノ駿河灣侵入及敵ノ揚陸

ヲ阻止撃手操セシトス
 三々飛行機隊ノ行動並ニ任務ヲ左表ノ通定ム

水 上 偵 察		機隊別	機別	行 動 並 任 務	記 事
B 機		A 機		十四〇〇〇江浦基地索 下記索敵回ニテ敵主力ヲ搜 索觸接爆撃手ニ任ズベシ 行動時間 四時間	A機行動回 江浦 居島崎 却崎
十四日〇三〇江浦基地索 大瀬崎ノ三四度三澤ヨリ三五度 土澤ノ北点ヲ経テ南下シ石花海 以北ノ海面ヲ哨戒シ敵主力ヲ搜 索觸接爆撃手ニ任ズベシ 行動時間 四時間					

四
飛
行
機
隊
編
制
ヲ
左
如
ク
定
ム

艦上攻撃機隊	機隊
<p>三基</p> <p>敵主力爆撃、即日待機ヲスベシ</p> <p>○三三〇ニ至ルモ敵ヲ察見セザレバ 直ニ出奔、敵主力ヲ搜索 之ガ爆撃ヲ任ズベシ</p> <p>行動時間 四時間</p>	<p>C機</p> <p>西日三〇江浦基地奔</p> <p>原御前崎ヲ通ル線、東西兩 側各三運線以テ及原ヲ中心トスル 十八海里圏内ヲ適宜行動シ敵 主力ノ搜索觸接爆撃ヲ任ズ ベシ、行動時間 四時間</p> <p>敵主力ヲ察見セバ觸接ヲ保テ (吊光投擲使用)機ヲ見テ爆 撃スベシ</p>

上 水			上 水			機隊別
隊機撃攻			隊機察偵			
三和 大尉			長坂 大尉	相澤 大尉	黒井 大尉	指揮官
三	二	一	C機	B機	A機	機首號
カ1三七一	カ1三六八	カ1三七〇	カ1三七	カ1二六	カ1二四	機尾號
菅 二空曹	河野 一空曹	三和 大尉	森 一空曹	林 二空曹	黒井 大尉	操縦者
小椋 二空曹	紺野 一空曹	松 凡 二空曹	長坂 大尉	相澤 大尉	出 三空曹	偵察者
シ 三 三	シ 三 二	シ 三 一	シ 〇 三	シ 〇 二	シ 〇 一	呼出符號

五、通信連絡

機密横鎮基演第一次乙軍命令第二號別紙横鎮基演第一次乙軍通信計畫書二據

六、其他

の地点、機密横鎮基演第一次乙軍法令第一號別紙記載、使用ス

附令

- 一、敵主力ノ觸接ハ保安上單機ヲ使用ス前觸接機ハ後々觸接機
来ラバ帰途ニ就ム
- 二、任務ニ就ク飛行機ハ高度三〇〇米以上五〇〇米以下
帰途ニ就ク飛行機ハ高度三〇〇米以下ニテ飛行シ時々オルガス
信號燈ヲ以テ上方ヲ照明スベシ
- 三、夜間航空機相互ノ空中戦闘ヲ禁ズ又夜航空機ハ保安上
見張警戒ニ関シ特ニ注意スベシ

(終)

三九

昭和六年横須賀鎮守府基本演習

第一次演習 乙軍

乙特別陸戰隊

機密乙特陸命令第五〇號

昭和六年七月七日於加古

市村乙特別陸戰隊指揮官

乙特別陸戰隊沼津附近防備計畫左ノ通り定ム

一 方針

一 沼津。原町海岸附近ニ上陸ヲ強行セントスル敵ニ對シテハ成シ得ル限リ

其ノ半渡ニ乘シテ水際ニ殲滅シ

二 敵ノ右以外ノ海岸ニ上陸ヲ企圖スル場合亦之ニ準スルモ若シ敵ノ半渡ニ乘

スルヲ得サル場合ニ於テハ沼津市(谷)ノ北東方地区ヲ確保シ航空隊

ト協力シテ敵ノ上陸軍ノ主都進攻企圖ヲ阻止スル務メ機ヲ見テ之ヲ決戦シ海上ニ正進ス

二 要領

三 警備艦及航空隊トノ連絡ヲ緊密ニシ速ニ敵ノ主上陸方向ヲ察知シ

敵ノ佯動ニ欺カレサルト共ニ敵ニ先立テテソノ上陸点附近ニ展開ヲ完了

スル如ク行動ス

四 水際ニ於ケル上陸阻止戦斗ニ於テハ敵艦艇ノ掩護砲火ヲ顧慮シ敵上

陸舟艇トノ距離約五百米ニ接近スル迄ヲ隱忍潜伏シ該距離ニ入ラバ

一撃ニ殲滅的射撃効果ヲ發揚ス

五、敵ノ半渡ニ乘スルヲ得サレ場合ニ於テハ其ノ上陸点ニ應シ先シ左記ノ線ヲ

防禦シ敵ヲ其ノ決戦ノ情シヨリ直ニ決戦ニ移ルコトアリ

上陸点ヲ野川以東ノ場合

概ネ 香貫山 沼津市ノ線

上陸点ヲ野川以西ノ場合

概ネ 中澤田 沼津市ノ線

六、以上趣旨ニ基キ陸戦隊ハ原町ノ島御海岸ノ要点ニ監視哨戒
ニ任スル部隊ヲ配スルノ外努メテ兵力ヲ沼津市ニ集結 敵ノ向トシテ方
ヨリ上陸ヲ企圖スルニ應シ得ルノ姿勢ヲ保持ス

三、軍隊區分 配備及任務

七、哨戒ノ爲ニ如ク兵力ヲ區分ス

本 隊	西哨戒隊	東哨戒隊	軍隊區分
	指揮隊	陸戦隊	指揮官
直率	第二中隊長	第一中隊長 第一小隊長	部
附	第一中隊 第二中隊 第二中隊ノ二ヶ小隊 第一中隊ノ二ヶ小隊	第一中隊 第二中隊 第一中隊ノ二ヶ小隊 第一小隊	隊
銃	銃	銃	隊
隊	隊	隊	隊

各部隊ノ配備及任務左ノ如シ、別紙西要圖参照

軍隊区分	主	備	位	置	任	務
	東	西	南	北		
東哨戒隊	我入道	東方十字路	御前山南麓	御前山南麓	信號隊ト連繫シ、狩野川口(含)島郷海岸ノ監視哨戒ニ任ズ。	
西哨戒隊	片濱村	北濱村	東門海岸	南門海岸	狩野川口(含)東京町海岸ノ監視哨戒ニ任ズ。	
本	沼津市浅間神社	沼津市浅間神社	沼津市浅間神社	沼津市浅間神社	警備艇及航空隊ト無線連絡ニ任ズ	
隊	信號隊	狩野川口右岸	沼津第一小学校	沼津第一小学校	警備艇ト信号西哨戒隊ト目視連絡警急通信ノ中継ニ任ズ、外海上及空中ノ敵監視ニ任ズ。	
其他	沼津第一小学校	沼津第一小学校	沼津第一小学校	沼津第一小学校		

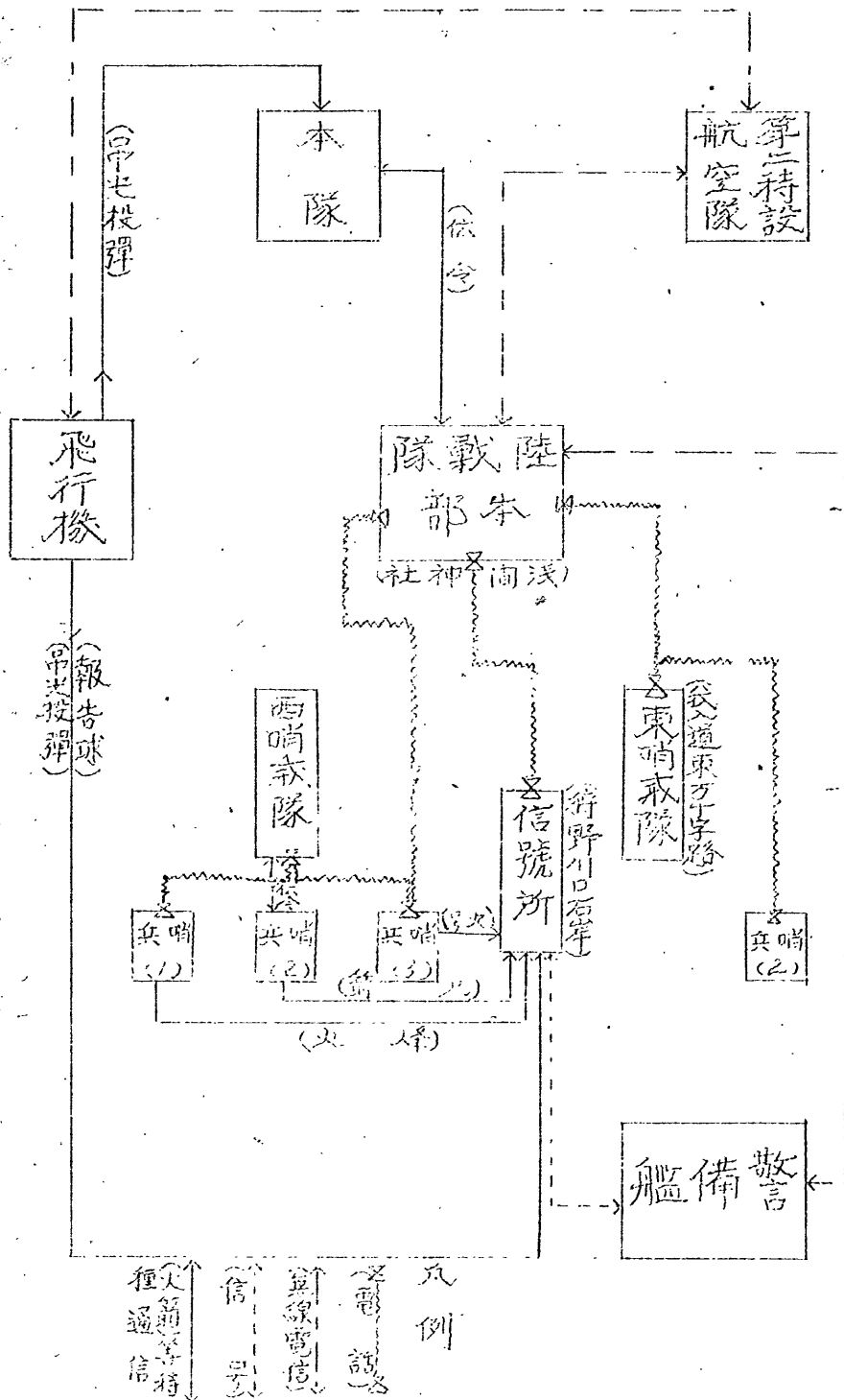
要領

九敵上陸ヲ開始スル哨戒隊一部ヲ以テ海上及翼側ヲ警戒スル
ト共ニ置ニ上陸点附近ノ海岸要地ヲ占領第四項ニ從ヒ

行動ス。

敵ノ水上陸点判明シタル場合諸隊ノ執ルハ平行行動左ノ如シ。

部		隊		本		隊		隊	
哨	戒	銃	機銃	工作	通信	醫務	主計	敵	上陸
正陸奥方面 哨戒中隊	在外	隊	隊	隊	隊	隊	隊	半渡	五
前項ニヨリ行動	待命無キ限リ現任任務ヲ續行シ敵ノ脅自前上陸ニ對シ陸戰隊側背ヲ警戒ス	直ニ主上陸点附近ニ進出展開ス	微健自働車ノ監督運輸ニ任スルノ外銃隊ト共ニ行動	自衛ヲ嚴ニシ現任任務ヲ續行	現存地ニ存リテ命令ヲ待ソ	右(種々)對シ自衛ノ途ヲ講ス	二敵ノ上陸半渡ニ乘リ得サル場合ノ行動ノ情況ニヨリ此ヲ待令ス	三通信隊及各指揮小隊ハ左記ニヨリ通信網ノ施設及通信ニ任ル	三通信隊及各指揮小隊ハ左記ニヨリ通信網ノ施設及通信ニ任ル
行	動	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
信號所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所	無線電信所
狩野川口右岸	浅間神社(情況ニヨリ自動車上)	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社
狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸	狩野川右岸
有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話	有線電話
浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社	浅間神社
我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道	我ハ道
御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端	御用印南端
東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路	東方十字路



第二中隊
指揮小隊

有線電話

浅間神社

東間門

片浜村遊

病院

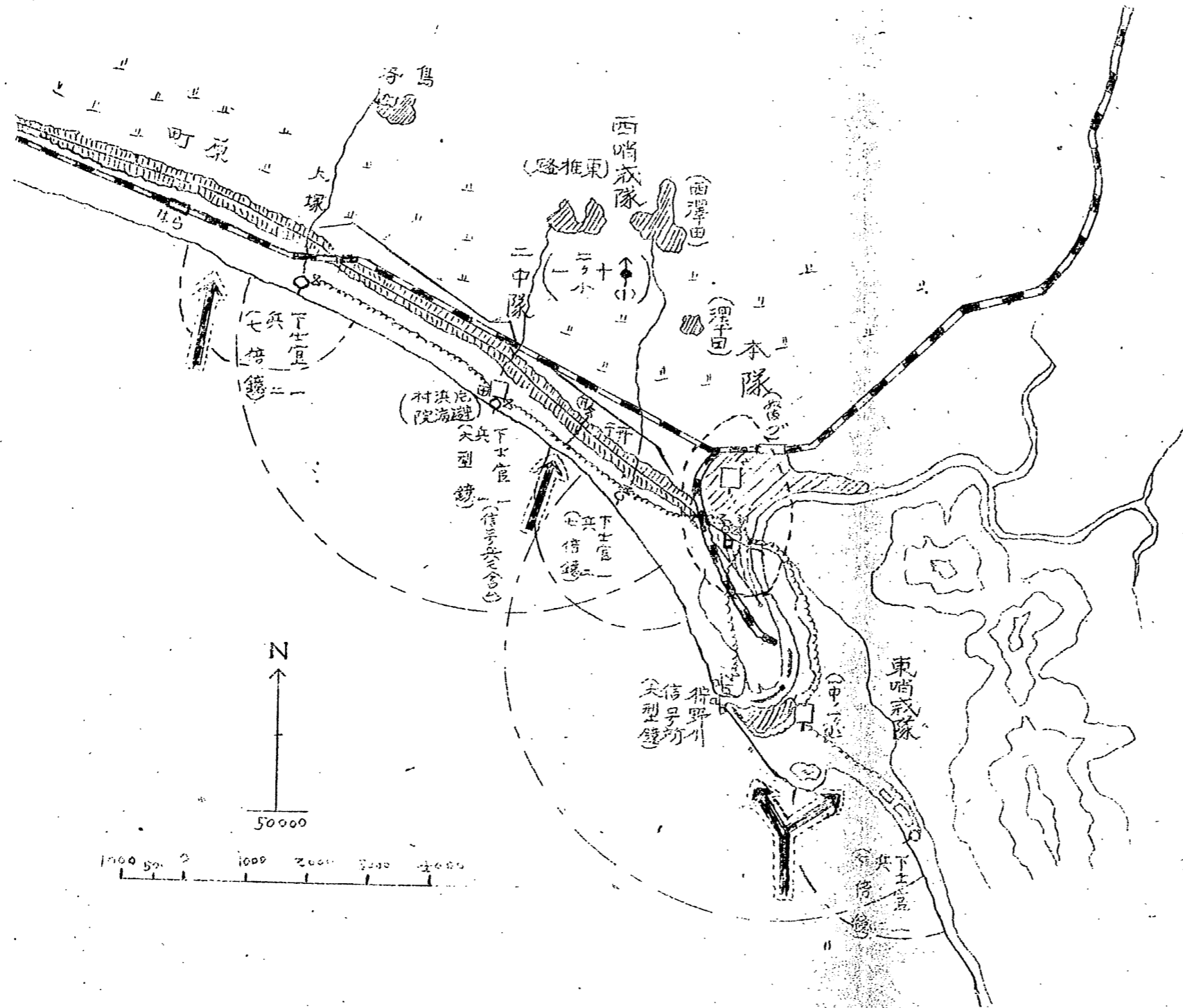
海岸

三各部門ノ主通信ハ左記ニヨリ安身施スルノ外情況ニヨリ地方電話又ハ傳令ニヨリ副通信ヲ併用ス。

兵 哨			飛 行 機			發 信 所 信 號		四 敵ノ行動ニ関スル特 敬言急信號ヲ左ノ如ク規約ス。
大塚南方	鹿浜避病院南方	東間門南方	吊 光 投 彈			青 白 赤		
(電話併用火)	(電話併用火)	(電話併用火)	青白赤	赤	白	青	敵ノ主上陸處ハ狩野川以東ナリ。	
敵ハ我カ附近ニ上陸セントス。			敵ハ主上陸處ヲ變更ス。	シ	シ	沼津市(倉)西方ナリ。	原町附近ナリ。	

(終)

乙特別陸戰隊沼津附近哨戒配備要圖



自轉車	貨物自動車	乘用自動車	陸用電話線	陸用電話器	烽火材料	短號火箭	信號火箭	七倍稜鏡双眼鏡	三脚架	十二種双眼望遠鏡	信號器具	短波無線送受信器	品名
十五輛	六台	一台	三十捲	百個	若干	若干	若干	三個	二個	二個	一個	一個	數量
濱島支隊備			海軍部		海軍部		海軍部		海軍部		海軍部		供給元
本隊			第一中隊		第一中隊		第一中隊		第一中隊		第一中隊		配當部隊數
通信所			通信隊		通信隊		通信隊		通信隊		通信隊		記
													乙特別陸戰隊
													事

特種材料準備計畫

乙特別陸戰隊

事

乙特陸大隊命令第一號
 昭和六年七月七日 於加古
 乙特陸大隊長 市村茂松
 大隊命令

編制表、通

二 集合時刻場所隊形其他左ノ如ク定ム

集合時刻	集合場所	隊形	其他				
七月十三日(月) 午前七時五分	横須賀海兵團 號令台前	<table border="1"> <tr> <td>司令</td> <td>中隊</td> <td>中隊</td> <td>南隊</td> </tr> </table>	司令	中隊	中隊	南隊	昼食(集) 兼(分) 推 前線
司令	中隊	中隊	南隊				

三 隊装及携行品

第二種軍装、通常隊装(小隊長以上成ルベク懐中電灯携行)
 但シ携行彈藥トシテ小銃空包各自三十發及外套ノ代リニ雨着ヲ兼
 兼器並ニ辨當箱ヲ携行ス其他日用品適宜

四 演習開始前、主要作業

(一) 横須賀沼津間汽車輸送

(二) 警備地区視察及諸設備、完成

(三) 通信傳令教練

(四) 兵力移動訓練

(五) 其他指導官ヨリ、指定作業

五 機密乙待陸命令第 五十 號ニヨル防備計畫ヲ熟讀シ

置クベシ

(終)

別表

乙特別陸戰隊編制表

大											
隊			銃				部本隊大				
二 中隊長 (海因) 今村大尉			一 中隊長 (海因) 川島大尉				中隊		大指 隊揮宣附兼 大指 隊揮宣副兼		大指 隊長
指小 三 村井兵曹長 (加)			指小 二 中村兵曹長 (加)		指小 一 水場待務少尉 (海)	指小 三 山内兵曹長 (海)	指小 二 保志待務少尉 (海)		指小 一 粟田待務少尉 (海)	指小 下山兵曹長 (海)	兵曹一 (加)
二 (内信四) (海)			二 (内信四) (海)		二 (内信四) (海)	二 (内信四) (海)	二 (内信四) (海)		二 (内信四) (海)	二 (内信四) (海)	二 (内信三) (加吉)
一〇五			一〇五		一〇五	一〇五	一〇五		一〇五	一〇五	一〇五
下士官以上 七名以上			下士官以上 七名以上		下士官以上 七名以上	下士官以上 七名以上	下士官以上 七名以上		下士官以上 七名以上	下士官以上 七名以上	下士官以上 七名以上

乙特陸大隊命令第三號

昭和六年七月十三日 於沼津驛前

市村乙特陸大隊長

大隊命令

- 一、諸隊ハ直ニ防備計畫ニ定ムル配備位置ニ至リ日没迄ニ警備地區ノ偵察及諸設備ヲ完了スヘシ
- 二、工作隊ハ有刺鉄線及木材ヲ徵發シ移動鉄條網約三千米分ヲ準備シ置クヘシ（移動鉄條網ハ赤色紙テープヲ以テ之ヲ示ス）
- 三、西哨戒隊ハ原町海岸著屋東方約五百米ノ松樹上ニ海面ヲ眩惑シ得ル如ク二百燭光電燈一個ヲ設置スヘシ（仮想）
- 四、通信隊ハ狩野川口右岸突堤端ノ百燭電燈ヲ消滅スヘシ（仮想）
- 五、別ニ指揮官附シテ沼津市ヨリ原町ニ至ル住民地ノ燈火管制ヲ實施スル如ク市町村當局ト交渉セム（仮想）

六、医療隊ハ第一小學校ニ治療所ヲ開設スヘシ
七、今夜ノ夕食ハ主計隊ヲシテ各配備位置ニ依リテ
給セシム
八、大隊本部ハ浅間神社ニ在リ

(終)

乙特陸大隊命令第四號

昭和六年七月十四日〇〇〇〇沼津浅間神社

市村乙特陸大隊長

大隊命令

- 一 情報ニ依レバ大型巡洋艦一隻及特型駆逐艦数隻ヨリ成ル敵ハ若干ノ船艇ヲ伴ヒ七月十三日午後六時銭洲南西約二十哩ヲ北進中又七月十三日夕出漁セル漁船ハ午後八時御前崎燈台ノ南約三十哩ニ小型船艇数隻ノ北上スルヲ發見セリトイフ。
- 乙 軍ハ全カヲ擧ケテ敵艦隊ノ駿河灣侵入及陸戦隊揚陸ヲ阻止撃壊スルニ決ス。
- 二 陸戦隊ハ現姿勢ノ儘警戒ヲ嚴ニシテ夜ヲ撤セントス。
- 三 哨戒隊ハ予定計畫ニヨル哨戒ヲ實施スベシ。
- 四 本隊ハ即時發動シ得ル姿勢ヲトリ現在地ニ在リテ待機スベシ。

五、明朝ノ朝食ハ乾麵包ニヨルベシ情況之ヲ許セバ走詰肉ヲ配給ス。
 六、今夜ノ合言葉ヲ「アメヅチ」トス。
 七、余ハ沼津市浅間神社ニ在リ
 午前二時命人々受領者ヲ余ノ許ニ出セ。

(終)

乙 特別陸機密第一〇一號

昭和六年七月十三日 沼津

市村乙 特別陸戰隊指揮官

乙 特別陸戰隊電話通信内規別紙通定ム

(終)

乙 特別陸機密第一。一 特別紙

乙 特別陸戦隊電話通信内規

電話通信、陸戦放範、規定ニヨル、外左記ニ據リ之ヲ實施ス

一 一般通信

一 呼鈴、使用法

當隊供用ノ電話器ノ呼鈴ハ遠距離(三ノ米以上)ニ通セザルヲ以テ一箇所ニ於テ呼鈴ヲ鳴レル時ハ他ノ電話所ニ於テ逐次中絶スルモノトス
呼鈴ノ鳴ルヲ聞キタル場合ハ之ヲ中絶シタル後發音スルコトナク受話器ヲ耳ニ當テ受聽スルモノトス

二 呼出 又 應答

例 陸戦隊本部ヨリ西哨戒隊本部ニ通話セントスル場合

送話者 「モレモレ哨戒隊哨戒隊」 「コナラ本部」

受話者 「ハイハイ本部本部」 「コナラ哨戒隊」

三 交話要領

一 送話者ハ受話者ノ應答ヲ得タル後「本文」ト冒頭ニ本部ヲ適當ニ區切リ(區切ハ短ク過キルヲオトス)ニ面宛發音ニ送話終ラ「終」ト發音ス

二 受話者ハ送話者ノ送話ヲ筆記シ途中不明ノ箇所「ル」ト問ヒ返スコトナク全文ヲ聞キ終リ(途中不明ノ箇所「ル」ト全文ヲ聞キ終リタル後問ヒ返

全文ヲ聞キ終リ(途中不明ノ箇所「ル」ト全文ヲ聞キ終リタル後問ヒ返

了解六「復唱」七唱八全文九「復唱」

送話者八受話者「復唱」七「復唱」正トキヲ確メ「宣」ト通話終リ唱へ通話完

了ス

第二、多数相手ニ對スル通信

一呼出及應答

例 陸戰隊本部ヨリ西哨隊本部及哨兵全部ニ通話セトスル場合

送話者 「三三三 總電話 總電話」 「コナラ本部」

受話者 「ハイハイ 本部本部」 「コナラ哨隊」

「ハイハイ 本部本部」 「コナラ哨兵」

備考

復唱順序ニ指揮系統トシテ之ヲ先ニ同位トモル其ノ番号順序トス

三、文話要領

互説ノ外一般通信法也

一、復唱ハ特ニ要求ヲ受ケタルモノニ行フ

二、特ニ要求ヲ受ケタル復唱以外ハ應答順序「第一哨兵了解」

三、哨兵了解「第一哨兵了解」

四、哨兵了解後「第二哨兵了解」

送話者ハ「了解」ノ聞キ終リ後更ニ本文ニ繰返ス

第三 傍受信

一、各電話所へ直接指呼せしむる場合ニ於テモ努メテ他、通話ヲ傍受スルモノトス

ニ、特ニ傍受者ヲ指定スル場合ノ通話ハ左例ニ示スル

例 西哨戒隊、第一哨兵ヨリ哨戒隊長へ對スル報告ヲ全時ニ陸隊

本部ニ傍受セシメントスル場合

(1) 呼出

「モシモシ 哨戒隊 哨戒隊」本部傍受本部傍受」コナラ第

一哨兵

(2) 應答

主受話者

「ハイハイ 第一哨兵、第一哨兵」コナラ哨戒隊」
傍受者

(3) 交話要領
「ハイハイ 第一哨兵、第一哨兵」コナラ本部傍受」
一級通信ニ全シ

但シ傍受者ハ復唱スルコトヲ主受話者ハ復唱終リ後本部了解ト察唱ス

第四 通信錯線防止法

一 電話系ノ通信錯線ノ場合之整理ノ多在如ク通話順序ヲ定ム

第一 命令通信

第二 敵情通信(敵情重大ニ変化シタル場合等)

第三 普通通信

此ノ場合通話順序上在ルモノハ「命令」或ハ「敵情」ト呼ゼラ他ノ通話ヲ停止セシメタル後前諸項ヨリ通話ヲ行フモノトス

(終)

1798

四〇

昭和六年横須賀鎮守府基本演習

第二次演習

甲軍

指

揮

官



機密横鎮基二次演甲軍第一號

昭和六年七月三日

横鎮基演習二次演習指揮官 市村久雁

情況判断

一我艦隊ハ速ニ出撃シテ友軍航空隊ノ支援ニ任スルヲ要ス

二我航空機ヲ以テ敵艦隊ヲ空襲セシムルヲ要ス

(理由)

敵艦隊ハ朝來出勤ノ状顯著ナリトスルモ要スルニ其所在ハ東京海灣附近ニアリト推定セラレ空襲實施ニ依リテ直接効果ヲ期待スル外間接的ニモ敵ノ所在ヲ確認スルヲ得ヘク爾後ノ作戰指導上有利ナリ

三、我第六潜水隊ヲ以テ東京湾口ニ敵艦隊ヲ邀撃セシムルヲ要ス

(理由)

敵ノ出撃時刻ハ出撃後ノ行動ヲ秘スル爲ニ夜間ヲ有利トスルモ空襲並驅逐隊潜水隊ノ湾口ニ蝟集スルコトヲ考慮セハ敵ハ飛行機ノ優勢ヲ持スルト雖急速出港ヲ利トスヘシ

湾口ニ於テ邀撃スルハ成巧ノ算最大ニシテ且爾後敵情ヲ得ルニ有利ナリ

四、十四日午後艦隊駿河湾出撃後驅逐隊ヲ放キテ夜戰ヲ行ヒ翌朝航空戰隊ト協同シテ可成敵ノ飛行基地ヨリ遠隔セルハ丈島北方ニ於テ決戦スルヲ可トス

(理由)

我驅逐隊ハ敵ニ比シ優勢ナリ
 敵艦隊ニ對スル我空襲並潜水艦ノ邀撃ハ爾後ノ敵情ヲ
 明ニスルノ結果トナリ且正午ニ於ケル彼我艦隊ノ距離約
 一〇〇哩ナルヨリ推シテ夜戰可能ナリ而シテ夜戰ノ後之ニ
 接触スルハ翌朝ノ戦闘ニ資スル所大ナリ
 敵艦隊ノ出撃海面ハ我前進根據地ヨリノ飛行圈ニ鑑ミ
 伊豆列島線ノ東方ナルヘク我ハ又同方面ハ航空戰隊
 ノ飛行圈ニシテ決戰地域トシテ有利ナリ

(終)

樺密橫鎮基二次演習甲軍第二號

昭和六年七月三日

橫鎮基演習第二次演習指揮官 市村久雄

作戰計畫

第一作戰目的

敵艦隊擊滅

第二作戰方針

一、我艦隊ハ急速駿河湾ヲ出撃航空戰隊ノ支援ニ向テ
 二、演習開始直後攻撃機ヲ以テ敵艦隊並飛行基地ヲ
 空襲ス

三、第六潜水隊ハ東京湾口ニ敵艦隊ヲ邀撃ス

四、第八驅逐隊ハ駿河湾出撃後進出敵艦隊ヲ夜襲ス

五、主隊ハ十五日早朝八丈島北方ニ於テ航空戦隊ト協同シ
テ敵艦隊ヲ撃滅セントス

第三兵力部署各部隊ノ任務行動(別圖ハ甲軍命令第一號ニ付ス)

附 第 (霞)	隊		艦 主		區分 兵力	指揮官 任務	行動
	首 隊	隊	隊	主			
	湾口 首隊	隊	隊	主			
	Asy	Sdy	嚴島	榛名			
	指		軍 甲				
霞	司令	司令	直率	指揮官			
一艦隊出撃 時駿河湾	一東京湾日首成 二敵艦隊邀撃 三敵艦隊ニ触接	司令	敵艦隊 撃滅	指揮官			
一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)
一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)	一三四日 艦隊駿河湾出撃時警戒(二機)

敵飛行船ヲ發見シタル時ハ直ニ飛行機ヲ以テ攻撃ス
 第四、通信ニ關シテハ別ニ定ム

隊部属		二 特設航空隊	
第三 (機) 特設 航空隊 (八丈島)	(江浦) 水偵 三	(機) 三	(機) 三
官 揮		空 千 田 少 佐	
前田 大尉	敵艦隊攻撃	一敵艦隊攻撃 二敵艦隊接触 (十四日)	對潛警戒 三索敵接触
三機館山基地攻撃 三島ヲ補給後敵投 スルコトヲ得	六機共三・出發三機、敵艦 隊攻撃、尔後接触 三機ハ艦隊ヲ飛行基地 攻撃	二一七〇敵主力、索敵 接触ヲ招致(一機)	明ナル場合 指定時 全航空機 ヲ集中 敵艦隊ヲ 攻撃ス
全右	即時機隊水偵ヨリ敵 情ヲ得、尔後敵主力 攻撃、情況ニ依リ 一索敵線ヲ飛行 機ヲ以テ攻撃ス	甲飛行機 大島、北ヲカハリ 一〇度方向 乙飛行機ハ 石室崎ヨリ 一〇度方向 丙飛行機 石室崎ヨリ 一三〇度方向	〇三三〇出發三 機、伊豆南端 ヨリ七〇哩進出 索敵

(終)



機密横鎮基二次演習甲軍命令第一號

昭和六年七月三日

横鎮基演習二次演習甲軍指揮官 市村久雄

甲軍命令

一 敵情ハ想定所載ノ通

二 我艦隊ハ直ニ出撃晝間^敵航空機ヲ避ケテ南下航空戦隊
ノ支援ニ向ヒ我航空機潜水艦驅逐艦ヲ以テ十四日終日敵
ヲ攻撃シ翌朝八丈島北方ニ我全力ヲ集中シ一舉ニ敵ヲ
撃滅セントス

三 兵力部署各部隊ノ行動左ノ通定ム

(参照)別紙第一

甲軍艦隊駿河湾出撃計画
別圖第一 甲軍艦隊行動予定並飛行索敵圖

艦		区分
主	隊	
榛名	隊	兵力
嚴島	Sdg	指揮官
指揮官 直率	司令	行動
<p>計四 一三〇 三五 一八分 一三八 一九分 速力一四節</p> <p>對潜對空警戒ヲ嚴ニシ出撃南下出撃計画別紙第一ノ通</p> <p>一九三〇 三三 一八分 尔後別圖ノ通行動ス</p> <p>一三八 一九分 御藏島ノ二度三三哩ノ地点ニ達シ</p> <p>爾後敵情ニ依リ行動ス</p> <p>三第八驅逐隊(敵潜ノ願慮アル時ハ本隊ニ先行ニ小隊ハ進シ發進ス)ハ駿河湾出撃後進出飛行機潜水艦ト協同襲撃ヲ得テ夜襲シ爾後敵ニ接触</p> <p>翌朝之ヲ我主队ノ所在ニ誘致ス</p> <p>〇〇〇〇迄ニ敵ヲ得サレハ第四地点(御藏島一〇五三三哩)ニ向ヒ主队ニ合同スルモノトス</p> <p>東京湾口城ノ島洲崎燈台連絡線附近ニ敵ヲ邀撃シ爾後之ニ接触ス</p>		

隊	部	属	附
(霞) 攻 三	(横) 攻 三	(江浦)	(霞) 水偵 三
(三島)			霞空 千田少佐
任 務	十 四 日	十 五 日	十 月
一 敵 艦 隊 攻 撃 二 敵 艦 隊 接 橋 (十四日)	六 機 共 二 〇 〇 出 發 三 機 敵 艦 隊 攻 撃 不 後 艦 揚 三 機 艦 隊 又 二 機 停 基 地 攻 撃	三 機 共 三 三 〇 出 發 左 記 飛 行 線 三 索 敵 入 何 レ 尾 端 ヲ リ 七 〇 湊 甲 飛 行 線 大 島 北 三 〇 〇 カ ハ リ 一 〇 〇 攻 撃 方 向 乙 飛 行 線 石 室 崎 ヲ リ 〇 〇 攻 撃 方 向 丙 飛 行 線 石 室 崎 ヲ リ 一 三 〇 攻 撃 方 向	一 二 機 艦 隊 駿 河 湾 出 撃 時 對 潜 警 戒 三 任 ス 敵 情 明 ナ ル 場 合 80% 觸 接 三 〇 〇 觸 接 不 能 ナ リ 場 合
二 機 一 七 〇 〇 出 發 敵 主 力 索 敵 艦 接 二 任 〇 〇 夜 襲 ヲ 援 助 ス	指 定 特 機 飛 行 機 全 力 ヲ 集 中 敵 ヲ 攻 撃 ス	三 機 共 三 三 〇 出 發 左 記 飛 行 線 三 索 敵 入 何 レ 尾 端 ヲ リ 七 〇 湊 甲 飛 行 線 大 島 北 三 〇 〇 カ ハ リ 一 〇 〇 攻 撃 方 向 乙 飛 行 線 石 室 崎 ヲ リ 〇 〇 攻 撃 方 向 丙 飛 行 線 石 室 崎 ヲ リ 一 三 〇 攻 撃 方 向	80% 觸 接 不 能 ナ リ 場 合
即 時 特 機 水 偵 三 〇 敵 情 〇 〇 後 敵 主 力 攻 撃 情 況 〇 〇 三 索 敵 艦 艦 隊 行 ヲ 命 ス (ト ア ン)	十 五 日		

備考 一 敵 飛 行 船 ヲ 發 見 シ タ ル 際 〇 〇 直 二 飛 行 機 ヲ 以 テ 攻 撃 ス

二 丁 索 敵 線 〇 索 敵 〇 特 令 ス

三 丁 索 敵 線 〇 索 敵 特 令 ス (索 敵 線 石 室 崎 ヲ 一 六 〇 方 向 七 〇 湊)

四 通 信 〇 甲 軍 通 信 計 画 別 紙 第 二 通 リ 定 ム

(終)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="708 669 1066 976"><tr><td data-bbox="708 669 1066 775">1</td></tr><tr><td data-bbox="708 775 1066 864">2</td></tr><tr><td data-bbox="708 864 1066 976">3</td></tr></table>	1	2	3
1				
2				
3				
分割撮影 した理由	A 3判以上のため			
上記のとおり分割撮影したことを証明する。 13年 6月 18日				

35°-20'

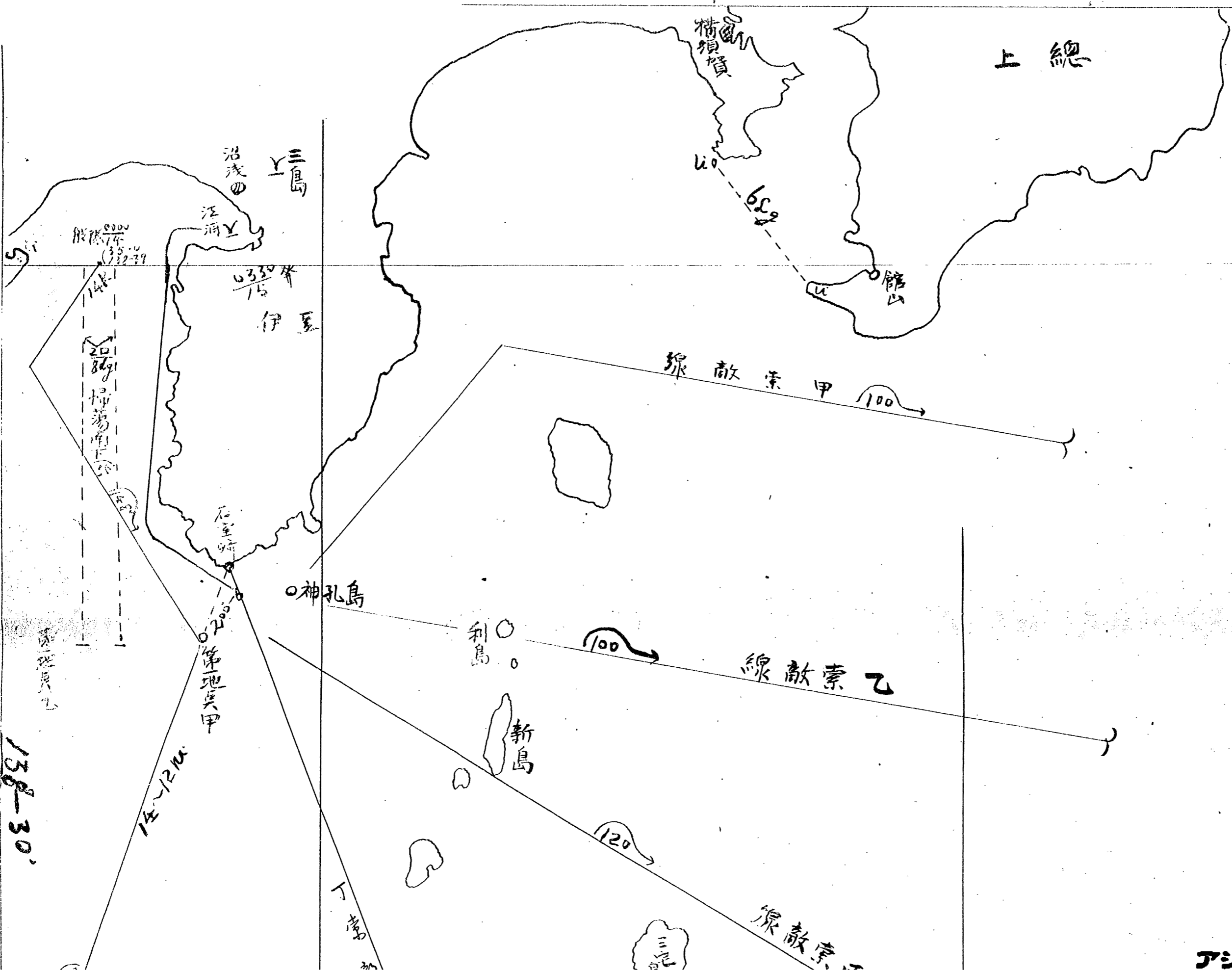
140°-40'

別圖

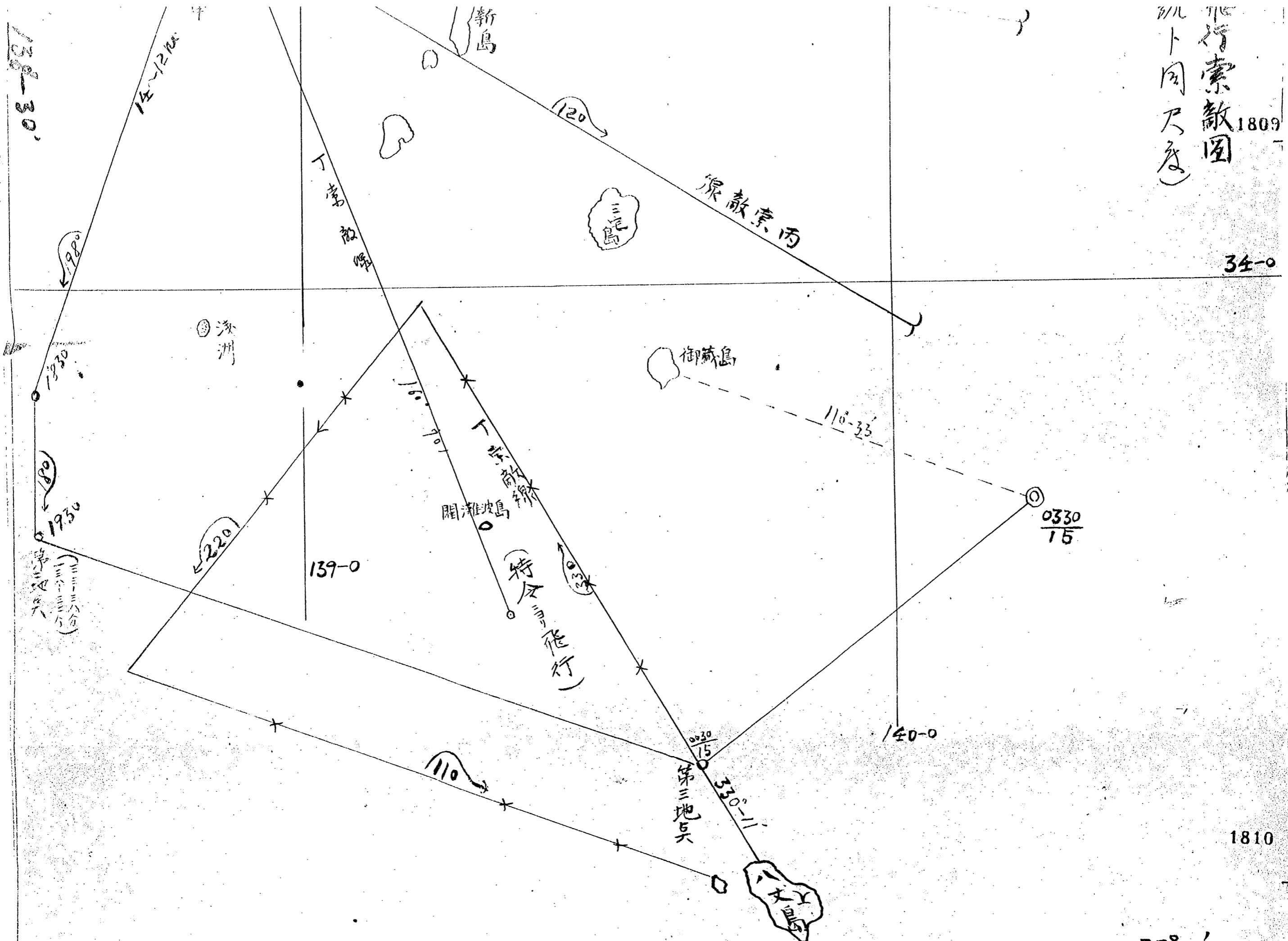
横鎮基演第二次演習
甲軍艦隊行動予定並能行索敵図

(海圖第六一號ト同尺度)

1809

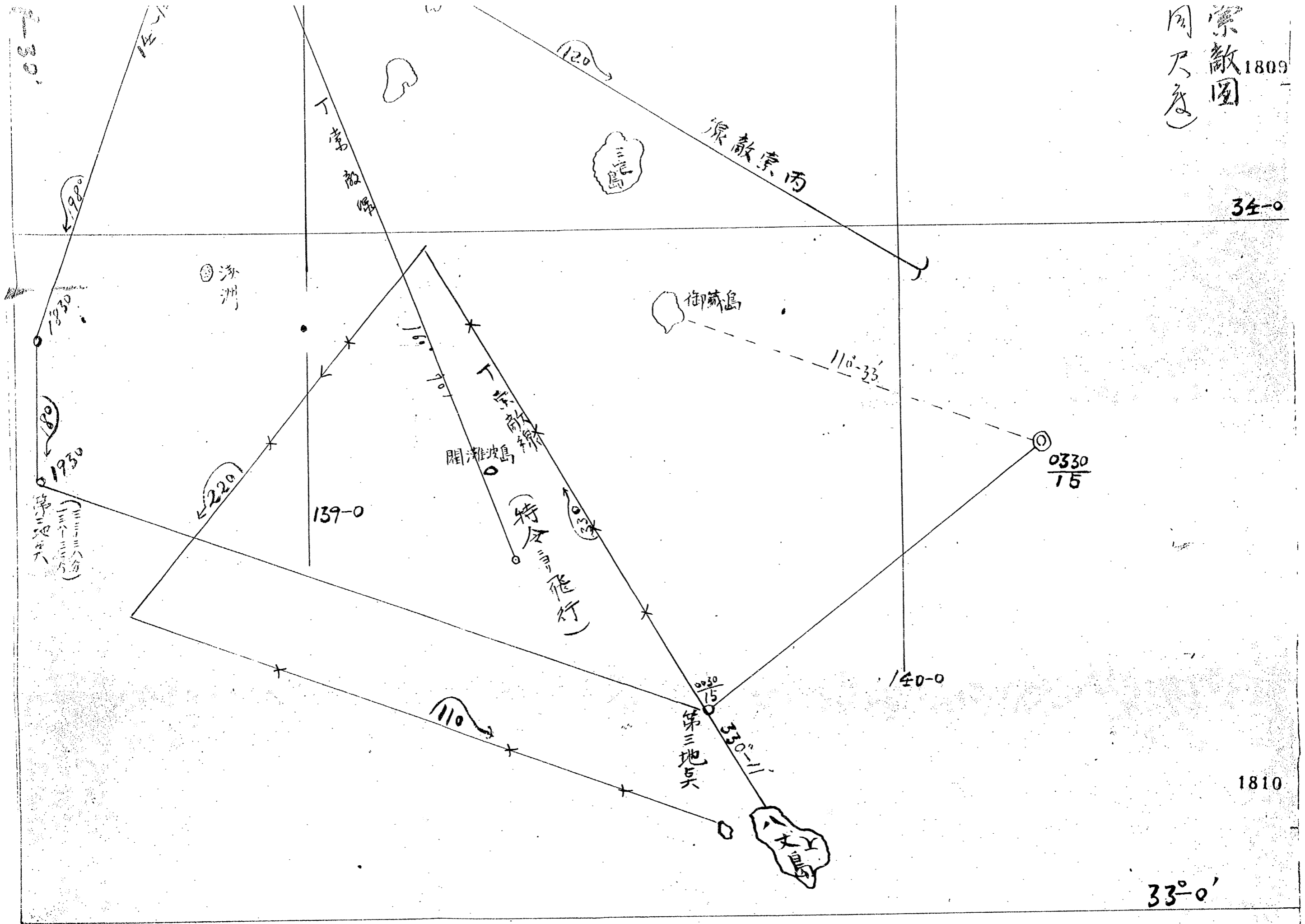


飛行索敵図
 以下同尺度
 1809



34-0

1810



別紙一

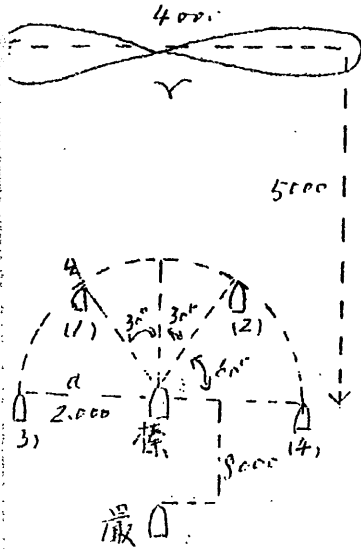
甲軍艦隊駿河湾出撃討出

一 急速先行掃蕩

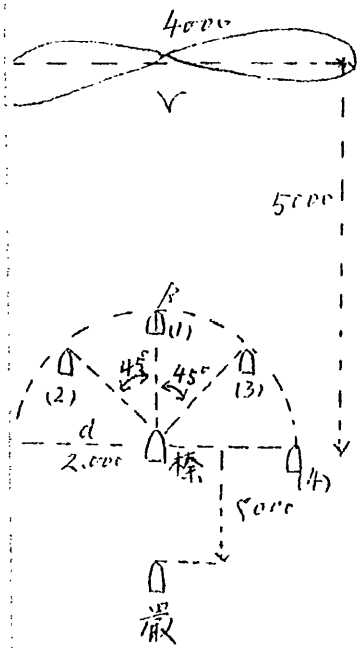
第八驅逐隊一小隊、水上偵察機一機ハ三ノ駿河湾三五ノハク
 ヨリ急速南下驅逐艦ハ飛行機ト協同敵潜ヲ掃蕩ス
 驅逐艦ハ利島ノ東西線附近ニ南下セハ反轉主隊ニ合同ス
 飛行機ハ五ノ頃令ニヨリ取投セシム

二 艦隊ノ警戒戒出撃

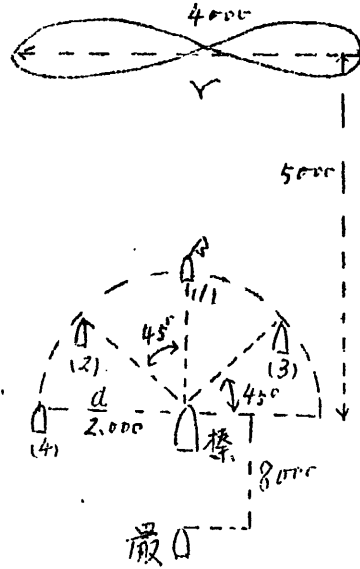
(イ) 直衛配備A法



(ロ) 直衛配備B法



(ハ) 直衛配備の法



記事

- 一、aハニ、ロ、米ト、必要ヨリ変更ス
- 二、敵潛攻撃等ノ爲、驅逐艦數四隻ニ滿
タル時ハ直衛、番號大ナルモノヲ欽トス
- 三、直衛配備A法、B法、C法ハ所定番號
ニ間索A(B、C)ヲ附シ區別ス

(ニ) 艦隊ノ出撃針路

- (イ) 伊豆半島西岸ニ接航南下第一地点甲(石室崎ノニ、度六哩)
ニ向フ
- (ロ) 東經一三八度三〇分ノ子午線ニ接航南下第一地点乙(御前崎
ノ一〇五度一五哩)ニ向フ

(終)

別紙 第二

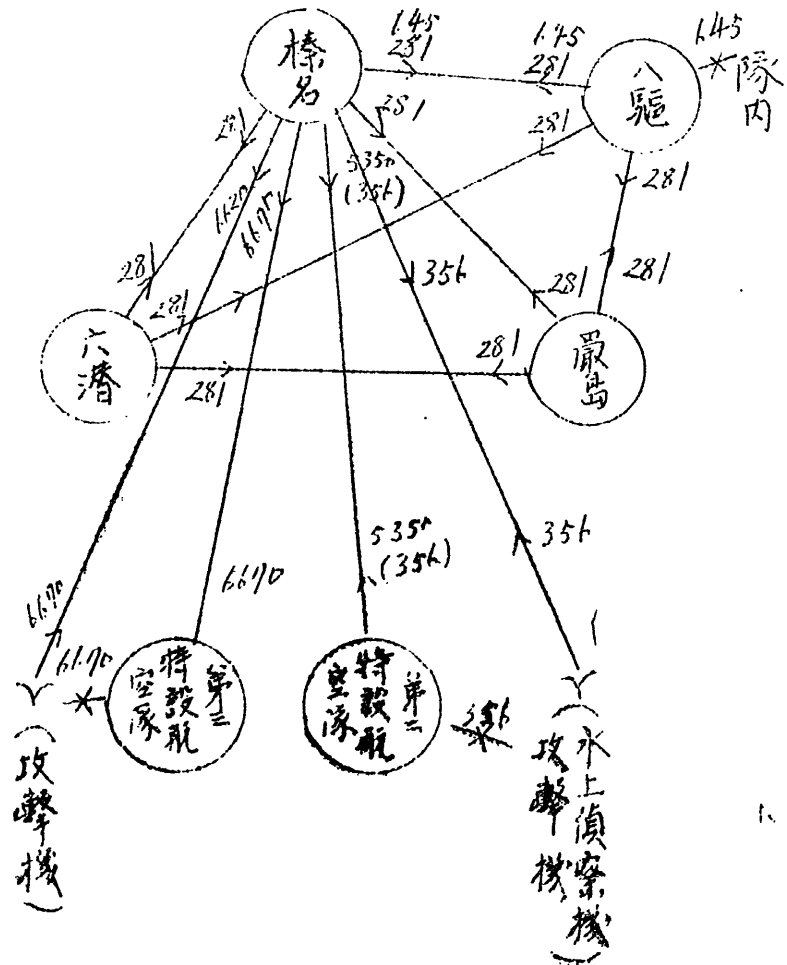
昭和六年
横鎮基本演習

第二次演習甲軍通信計画

一、甲軍通信ハ機密横鎮命令第八三號別紙昭和六年横鎮基本演習實施計画ニ據ルノ外本計画ニ依リ之ヲ行フ

二、各指揮官ハ本計画ニ據ルノ外通信上必要ナル計画ヲ定ムルコトヲ得此、場合ハ之ヲ本職ニ報告スルト共ニ關係各部ニ通報スヘシ

三通信系



四、通信電波

艦所名	送信電波	受信電波
榛名	二八一、六四五、 (三五六)六六七、補給艦用電波	二八一、六四五、三五六、 二〇六、五三五、 六六七、補給艦用電波
嚴島	二八一、	二八一、三五六、六六七、
第八驅逐隊	二八一、六四五、	二八一、六四五、三五六、六六七、五三五、
第六潜水隊	二八一、	二八一、
第三特設航空隊 (三島)	五三五〇、三五六、	五三五〇、三五六、
第三特設航空隊 (江ノ浦)	五三五〇、	五三五〇、
第三特設航空隊 飛行機	三五六、	三五六、
第三特設航空隊	六六七〇、	六六七〇、
第三特設航空隊 飛行機	六六七〇、	六六七〇、

五、通信法

(一) 通信ハ各通信系ヲ通シ隨時行フモノトス

但シ第六潜水隊ハ潜航中ハ成シ得ル限り毎時、始メヨリ五分間
二八一Kノ待受ヲナスモノトス

六 無線封止

- (一) 特設航空隊ハ所属航空機ノ通信ヲ担任シ所要ノ中継ヲナスモノトス
- (二) 各艦(隊)ハ極力航空機通信ノ直接了解ニ努ムルモノトス
- (三) 各艦(隊)ハ必要ニ應ジ航空機用電波ヲ使用シ航空機ト直接交信ヲナスコトヲ得
- (四) 但シ榛名ハ航空機ト直接交信ヲナスモノトス
- (五) 第二特設航空隊ノ呼出符合中 A 五二(トコ)ヲ三島基地用 A 二五(ミト)ヲ江戸浦基地用トス
- (一) 開演時ヨリ海上部隊ハ無線封止トス
- (二) 本封止中ハ一切ノ電波ヲ輻射スヘカラス
但シ作戰上特ニ重要ナル緊急通信及保安上絶対必要ナルモノハ此ノ限りニアラス
- 本封止中ノ通信ハ視覚通信等ヨリ之ヲ行フモノトス
- (三) 無線封止解除ハ本職之ヲ令ス但シ接敵セル艦(隊)ハ令ナクシテ無線封止ヲ解除スルモノトス
- (四) 無線封止ニテラサル艦(隊)又ハ飛行機ヨリ無線封止中ノ艦(隊)ニ對ス

ル長波通信ハ指名放送スルモノトス
 (五) 各艦(隊)ハ無線封止中ト雖嚴ニ所定電波ヲ待受クルモノトス

七、方位測定

榛名ハ成ルヘク多数ノ敵方位測定ヲ行フモノトス

八、偽電妨害信及避妨害信

(一) 偽電及妨害信ハ行ハス
 (二) 敵妨害信ニ會シタル場合ハ間歇的送信反覆送信等ノ手段
 ニヨリ之ヲ避クルモノトス

九、故障ニ對スル所置

敵襲具ノ他ニ依リ特設航空隊通信不能トナリタル場合ハ榛名
 之ニ代ル

可、味方識別信號

(一) 味方識別信號表